

県民の皆さまへのメッセージ

- 昨日、国において、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が全て解除されました。全国的に解除されたこととなります。
- 県内においても、県民の皆さまのこれまでのご協力により、この約 1 ヶ月は新たな感染者がゼロの状態を継続しております。皆さまのご協力を改めて厚く御礼を申し上げます。
- 緊急事態宣言が終了し、全国的に事態はほぼ収束に近づいてきたと言えますが、以前もお話ししたとおり、直ちに 2 月の感染拡大以前の状態に戻る、ということの意味するわけではありません。
- 感染拡大の防止対策や「新しい生活様式」を徹底していくことを前提にして、経済活動を本格的に再開させることが求められる局面に達したということです。
- 感染拡大の防止対策として、県内の事業者の方々には、業界団体ごとに全国的に策定されたガイドライン等を参考に、是非、自主的な対策に努めていただきたいと思います。
- また、高知県の特色や、高知県感染症対策協議会の吉川会長のご提言も踏まえて、すでにお示ししております、県内の店舗で共通してご注意いただきたい感染防止対策についてもしっかりと講じていただきながら、事業活動を段階的に本格化していただきたいと思います。
- また、県民の皆さまには、「3密」の回避やマスクの着用といった基本的な感染防止対策を改めて徹底し、新型コロナウイルス後の「新しい生活様式」を実践していくことを、しっかりと心がけていただきたいと思います。
- 最後に、県民の皆さまに提案とお願いがございます。
- 昨日示された国の方針では、全国的な人の往来・移動について、観光も含めて自由化される 8 月をにらんで、段階的に緩和していく方針が出されております。であるならば、そこに至る 6 月と 7 月を「高知家の地産地消を進める月間」にしようではありませんか。

- 県内の経済活動は、ここ数ヶ月の新型コロナウイルスの影響で大変傷んでいる状態にあります。県内経済の回復を、是非、成し遂げていきたいと思っております。
- 具体的には、県民の皆さまには、地域の地元でお買い物をしていただく、飲食していただくという形で、ドンドンと消費をしていただきたいと思っております。また、そのお買い物でも、県産品の消費を拡大していただきたいと思っております。
- そして、まだ全国的に自由に観光や往来ができる状況ではありませんので、この際、県内の色々な観光名所や施設を再発見するという面で、県内観光を進めていただきたいと思っております。
- 向こう2ヶ月程度、県内での消費や県内観光の拡大などに関して、県民の皆さまにご協力いただくことが、大変厳しい状況にある県内経済を回復させる大きな助けとなります。是非、ご協力をお願いいたします。

令和2年5月26日
高知県新型コロナウイルス感染症対策本部長
(知事) 濱田 省司

県民の皆さまへ（5月26日）

1 他県との往来について

時期	他県との往来	観光による他県との往来
5月31日まで	・不要不急の他県との往来自粛を継続	・県内観光を再開（人との間隔は確保）
6月1日～18日	・首都圏の一部（東京、神奈川、千葉、埼玉）、北海道との不要不急の往来を自粛	
6月19日～7月9日	<u>往来自粛を解除</u>	・県境をまたぐ観光も含めて徐々に再開（人との間隔は確保） ※「GoToキャンペーン」による支援（7月下旬～）
7月10日～31日		
8月1日以降 （感染状況による）		<u>往来自粛を解除</u> ※「GoToキャンペーン」による支援

2 イベント等の開催 **段階的に緩和**（別紙参照）

3 県内の店舗で営業を行う際の、適切な感染防止策の実施

※「3密」の回避、マスクの着用等の「業種ごとの感染拡大予防ガイドライン」等の実践

4 「新しい生活様式」等の実践、在宅勤務（テレワーク）や時差出勤等の推進

イベント開催制限の段階的緩和の目安（その1）

- 「新しい生活様式」に基づく行動。手指消毒やマスク着用、発熱等の症状がある者は外出等を避けるなど、基本的な感染防止策の徹底・継続。イベント主催者や出演者は「業種別ガイドライン」等に基づく行動、参加者の連絡先把握、接触確認アプリの周知、イベント前後の感染対策（行動管理含む）の呼びかけ。
- 感染拡大の兆候やイベント等でのクラスターの発生があった場合、イベントの無観客化や延期、中止等も含めて、国と連携しながら、都道府県知事が速やかに協力を要請。その際、専門家によるクラスターの発生原因やそれへの有効な対策等に関する分析を出来る限り活用（業種別ガイドラインの改定にも活用）。緊急事態宣言が出た場合、対策を強化。
- 今後、感染状況等に変化がみられる場合、段階的解除の目安の変更や必要な対策等を通知。

<基本的な考え方>

時期		収容率	人数上限
【移行期間】 ステップ① 5月25日～	屋内	50%以内	100人
	屋外	十分な間隔 *できれば2m	200人
ステップ② 6月19日～ *ステップ①から約3週間後	屋内	50%以内	1000人
	屋外	十分な間隔 *できれば2m	1000人
ステップ③ 7月10日～ *ステップ②から約3週間後	屋内	50%以内	5000人
	屋外	十分な間隔 *できれば2m	5000人
【移行期間後】 感染状況を見つつ、 8月1日を目途 *ステップ③から約3週間後	屋内	50%以内	上限なし
	屋外	十分な間隔 *できれば2m	上限なし

(注) 収容率と人数上限でどちらか小さい方を限度（両方の条件を満たす必要）。

イベント開催制限の段階的緩和の目安（その2）

○ イベント主催者は、特に、全国的な移動を伴うものには格段の注意。イベント参加者は、自身が感染対策を徹底していても、感染リスクはあることに留意。また、発熱等の症状がある者はイベントに参加しない（無症状で感染させる可能性も）。

<具体的な当てはめ>

時期	コンサート等			展示会等			プロスポーツ等 <small>(全国的移動を伴うもの)</small>			お祭り・野外フェス等	
	全国的・広域的	地域の行事									
【移行期間】 ステップ① 5月25日～	○ 【100人又は50% ^(注) (屋外200人)】 * 密閉空間で大声を発するもの、人との間隔を十分確保できないもの等は慎重な対応、管楽器にも注意	○ 【100人又は50%】 * 入場制限等により、人との間隔を十分確保できないもの等は慎重な対応	×						△ 【100人又は50% (屋外200人)】 * 特定の地域からの来場を見込み、人数を管理できるものは可		
ステップ② 6月19日～ * ステップ①から約3週間後	○ 【1000人又は50%】 * 密閉空間で大声を発するもの、人との間隔を十分確保できないもの等は慎重な対応、管楽器にも注意	○ 【1000人又は50%】 * 入場制限等により、人との間隔を十分確保できないもの等は慎重な対応	×	○ 【無観客】 ^(ネット中継等) * 無観客でも感染対策徹底、主催者による試合中・前後における選手等の行動管理							
ステップ③ 7月10日～ * ステップ②から約3週間後	○ 【5000人又は50%】 * 密閉空間で大声を発するもの等は、厳格なガイドラインによる対応 * GoToキャンペーンによる支援(7月下旬～)	○ 【5000人又は50%】 * 入場制限等により、人との間隔を十分確保できないもの等は慎重な対応 * GoToキャンペーンによる支援(7月下旬～)		○ 【5000人又は50%】 * 感染対策徹底、主催者による試合中・前後における選手・観客等の行動管理 * GoToキャンペーンによる支援(7月下旬～)					○ * 特定の地域からの来場を見込み、人数を管理できるものは可		
【移行期間後】 感染状況を見つつ、 8月1日 を目途 * ステップ③から約3週間後	○ 【50%】 * 密閉空間で大声を発するもの等は、厳格なガイドラインによる対応 * GoToキャンペーンによる支援	○ 【50%】 * 入場制限等により、人との間隔を十分確保できないもの等は慎重な対応 * GoToキャンペーンによる支援		○ 【50%】 * 感染対策徹底、主催者による試合中・前後における選手・観客等の行動管理 * GoToキャンペーンによる支援				△ 【十分な間隔】 (できれば2m) * 感染状況を踏まえて、判断。			

(注)どちらか小さい方を限度。他の場合も同様。

県内店舗の皆さまへのお願い

- ◆ これまで感染防止対策にご協力いただき、深く感謝いたします。
- ◆ 県内の店舗において営業を行う際は、以下の①～④全ての感染対策を講じていただくようお願いいたします。（特に、①において来店者のマスク着用を必須とするのは、来店者と従業員の健康を守るためです。）
 - ① 来店者全員（注1）と従業員全員がマスクを着用してください。（注2）
（布マスク等着用でも可）
 - ② 来店者全員・従業員全員が手洗い又は手指消毒を行ってください。
（店舗入口に消毒液を設置すること等）
 - ③ 従業員・来店者・客席間の距離を1メートル以上保ってください。
（1メートル以上の距離を保てない場合は透明なビニール等で仕切るなどの工夫を行ってください。）
 - ④ 可能な限りの換気と人が接触する部分の適時の消毒を行ってください。

（注1） 飲食時にマスクを外すことになる飲食店等については、大きな声での会話をしないことに、特にご留意ください。

（注2） マスクを着用するにあたっては、耳の不自由な方が困らないよう、筆談などの配慮をお願いします。

「新しい生活様式」の実践例①

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- 遊びにいくなら屋内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに手洗い・手指消毒
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気
- 身体的距離の確保
- 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



「新しい生活様式」の実践例②

(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務
- 時差通勤でゆったりと
- オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン
- 名刺交換はオンライン
- 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成予定

人との接触を8割減らす、10のポイント

緊急事態宣言の中、誰もが感染するリスク、誰でも感染させるリスクがあります。
新型コロナウイルス感染症から、あなたと身近な人の命を守れるよう、日常生活を見直してみましよう。

1

ビデオ通話で
オンライン帰省



2

スーパーは1人
または少人数で
すいている時間に



3

ジョギングは
少人数で
公園はすいた時間、
場所を選ぶ



4

待てる買い物は
通販で



5

飲み会は
オンラインで



6

診療は遠隔診療

定期受診は間隔を調整



7

筋トレやヨガは
自宅で動画を活用



8

飲食は
持ち帰り、
宅配も



9

仕事は在宅勤務

通勤は医療・インフラ・
物流など社会機能維持
のために



10

会話は
マスクをつけて



3つの密を
避けましょう

1. 換気の悪い密閉空間
2. 多数が集まる密集場所
3. 間近で会話や発声をする密接場面

手洗い・
咳エチケット・
換気や、健康管理

も、同様に重要です。